

4. 目標とする経営指標(2021年3月期)」

	2018年3月期 (予想)	3年後	2021年3月期 (目標)
売上高	11,100百万円		12,600百万円
営業利益	800百万円		1,200百万円
当期純利益	470百万円		724百万円
1株当たり当期純利益	52円		80円
自己資本当期純利益率(ROE)	14.0%		16.0%

5. 重点戦略

- ・成長戦略 : 先進的なIoXソリューションとセキュリティ・ソリューションを中核に、社会インフラ及び全産業向けに、IoX 総合エンジニアリング事業を展開し、利益成長型企业を目指します。
- ・ビジネス戦略 :
 - ◆**社会インフラ事業**
 - ・「エネルギー(電力・ガス)」「道路・鉄道」「航空・宇宙」「公共・防災」「通信ネットワーク」などの社会インフラにおけるシステム・インテグレーション・サービスで、安定した収益を確保します。
 - ・エネルギー会社の事業再編、次世代通信規格(5G)で事業の拡充を図ります。
 - ・ITS(Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム)への参画と、市場規模の拡大が見込まれる宇宙分野での領域拡大を図ります。
 - ◆**先進インダストリー事業**
 - ・先進 IoX テクノロジーを駆使して、「次世代 EV 自動車」「産業機器」「設備機器」「医療機器」など、「日本のモノづくり」のIoT化を促進します。
 - ・当社センターにて顧客製品をフル・サポートする、アウトソーシング型ビジネスの拡充を図ります。
 - ・拡大が進むキャッシュ・レス化を支える次世代型の決済システムへの対応を強化し、ビジネスの拡大を図ります。
 - ◆**IoX 総合エンジニアリング事業**
 - ・「安心・安全につなぐ」をキーワードに、先進 IoX テクノロジーを活用したシステム・インテグレーション、及びソリューション提供を展開する事業として、新たに、「IoX 総合エンジニアリング事業」を新設します。
 - ・当事業は高付加価値戦略を展開し、利益成長ドライバーと位置づけます。
 - 先進 IoX ソリューション領域**
 - ・サイバー空間とフィジカル空間をつなぐ、先進プラットフォームの設計・構築など、デバイスや組込み OS、近距離無線通信技術、電界通信技術、位置・地理情報、AI・ビッグデータ、自動運転技術、コンサルティングなどの先進技術で、新領域の開拓を促進します。
 - セキュリティ・ソリューション領域**
 - ・「IoT セキュリティのトップランナー」としての誇りを胸に、企業のセキュリティ・ガバナンスの設計から、ネットワーク、製品・生産にかかわる制御システム向けに、先進セキュリティ・ソリューションを展開します。
 - ・情報漏洩対策、システムの脆弱性対策やサイバー人材の育成を促進し、「人」と「システム」の観点から顧客の情報セキュリティを支援するコンサルティング・サービスを強化します。
- ・提携戦略 : 特徴的なソリューションを有する国内・海外企業との資本提携や M&A により、「アドソル・グループ」を形成すると共に、業務提携によるビジネス・エコシステムを構築し、成長戦略の加速を図ります。
- ・グローバル戦略 :
 - ・グローバル展開するインフラ関連企業及び製造メーカー向けに、アジア・アセアン圏でのサポート体制の拡充を図ります。
 - ・現地企業と連携し、先進ソリューションのグローバル展開に挑戦します。

- ・ **価値創造戦略** : ・「米国サンノゼ R&D センター」を通じて先進テクノロジーの調査・研究を促進し、IoXソリューションの進化・創造を推進します。
・「サイバー空間」と「フィジカル空間」を「安心・安全につなぐ」をキーワードに、「サイバー・フィジカル・システム」の先進プラット・フォームの提供に向け、大学・研究機関との共同研究、他企業との連携を通じて、新たな価値の創造に挑戦します。
- ・ **資本戦略** : ・適正な株式流動比率を維持すると共に、自己株式の取得などの手段も視野に、一株当たり利益の向上など、資本効率の向上を図ります。
- ・ **コーポレート戦略** : ・「一人ひとりが輝いて」をスローガンに、働き方改革・人事制度改革・業務改革に継続して取り組みます。

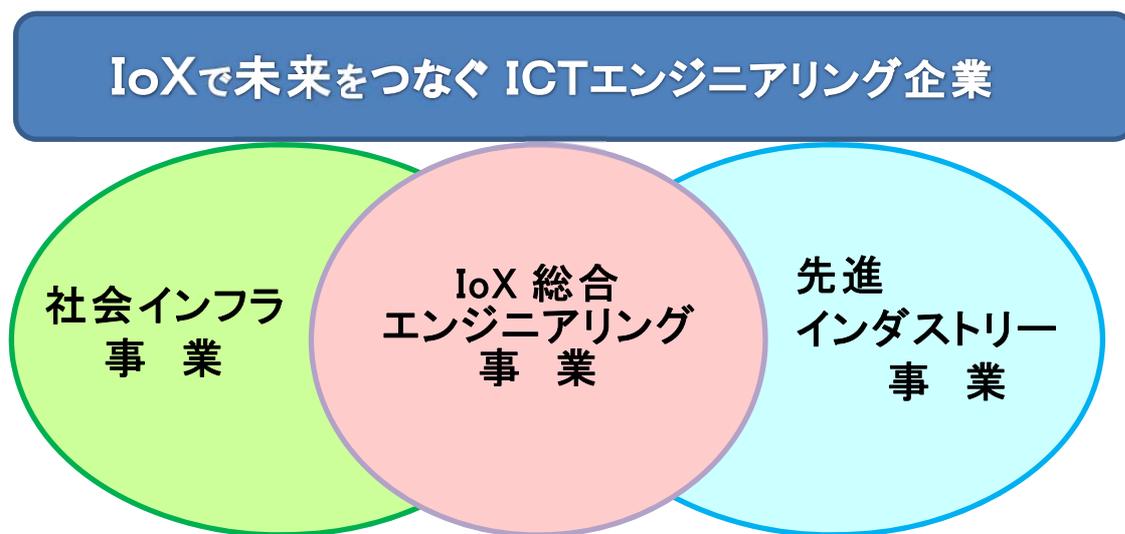
6. ESGへの取組み（環境：Environment、社会：Social、ガバナンス：Governance）

- ・「Society 5.0」の実現に向け、IoX、AI、サイバー・セキュリティなどの先進テクノロジーの探求と産官学との共同研究・共同事業に参画します。
- ・資源(エネルギー、水、食料)、環境、防災などの社会的課題に、社会インフラでの経験と先進 IoX テクノロジーを駆使したソリューションの開発・提供を通じて、持続可能な社会の発展に貢献します。

7. セグメント戦略

○セグメント再編

- ・事業セグメントは、従来の「社会システム事業」「IoT システム事業」を改め、「社会インフラ事業」「先進インダストリー事業」に再編します。
- ・前述の2事業に横断する事業として、「IoX 総合エンジニアリング事業」を設置します。



注：「IoX」：「Things(機器・装置)」をインターネットにつなげる従来の IoT(Internet of Things)から、人やサービスはじめ、インターネットにつながる様々なモノを「X」として表現しています。

8. 株主還元方針

当社は、持続的成長と企業価値向上を持続させる為の積極的な戦略投資を図ると共に、業績に裏付けられた成果配分を利益還元方針とします。

配当性向は、従来より2%引上げて、「配当性向 35%以上」を目指します。

以上

報道関係の本資料に関するお問い合わせ先：

アドソル日進株式会社 経営管理部 広報・IR 担当

TEL(代表)：03-5796-3131

e-mail：ir@adniss.jp